

第421号 2017年3月16日  
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

平成28年度「原子力規制人材育成事業」  
先端放射線科学講演会開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、平成28年度原子力規制人材育成事業「原子力災害における放射線被ばく事故対応に向けた総合的人材育成プログラム」の一環として、ストックホルム大学より2名の先生をお迎えし、「放射線の生物影響と原発事故」をテーマとした先端放射線科学講演会を下記の通り開催します。

本研究科とストックホルム大学放射線防護研究センター（センター長：Andrzej Wojcik教授）は平成25年に部局間学術協力協定を締結しており、本講演会では放射線の生体影響評価や放射線防護に関する世界最先端の知識について学ぶことが出来るまたと無い機会となっております。

事前申込みは不要ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

放射線規制人材育成事業  
先端放射線科学講演会

放射線の生物影響と  
原発事故

Program 1  
Dr. Siamak Haghdoost  
"Biological effects of radiation"

Program 2  
Dr. Andrzej Wojcik  
"The effect of radioactive iodine on the incidence of thyroid cancer after the Chernobyl and Fukushima nuclear accidents"

Stockholm University  
Centre for Radiation Protection Research (CRPR)

2017年  
3月17日 金  
17:00-18:40  
大学院講義室1（保健学研究科 F棟1階）

- ◆対象：学生、大学院生、教職員
- ◆入場無料、事前申込不要
- ◆英語による講演です

お問い合わせ 弘前大学保健学研究科 総務グループ  
(TEL:0172-39-5518)

日 時：平成29年3月17日（金）17時～18時40分

場 所：保健学研究科F棟1階 大学院講義室1

講 演：

1. "Biological effects of radiation"  
Dr. Siamak Haghdoost  
(Stockholm University Centre for Radiation Protection Research)
2. "The effect of radioactive iodine on the incidence of thyroid cancer after the Chernobyl and Fukushima nuclear accidents"  
Dr. Andrzej Wojcik  
(Stockholm University Centre for Radiation Protection Research)

対 象：学生・教職員

問合せ：弘前大学保健学研究科 総務グループ  
TEL：0172-39-5518

## 学内掲示板

### 弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編「Radiation Environment and Medicine Vol.6 No.1」(A4変形判・48頁, 定価1,188円:税込)を出版しました。

～紹介文～

弘前大学は、さまざまな原子力関連施設が立地する青森県における唯一の総合大学として、万が一の事態に際して地域の安心・安全を確保するため、被ばく医療に関連する取組みを平成20年度から推進してきており、平成27年8月には原子力規制委員会から原子力災害に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受けるに至りました。これに合わせて弘前大学放射線安全推進会議の下に「放射線安全総合支援センター」が設置されました。

これまでの弘前大学による人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicineは、第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名をRadiation Environment and Medicineに改めました。

第6巻1号には、放射線計測・線量評価・生物影響等の領域における論文に加えて、2016年に行われた韓国原子力医学院と弘前大学との核テロ対応共同訓練の報告が掲載されています。

今後も、放射線防護、線量評価、生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、疫学調査、臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。

皆様からの投稿をお待ちしております。※本誌は英文表記となります。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

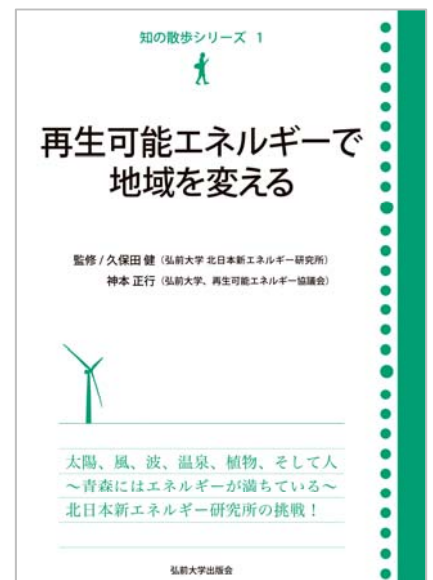
久保田健・神本正行 監修<知の散歩シリーズ1>

「再生可能エネルギーで地域を変える」(A5判140頁, 定価972円税込)を出版しました。

～紹介文～

太陽光や地熱、風や波、そして生物資源がもつ力——東日本大震災と原子力発電所の事故から6年がすぎた今、人と環境に優しく、枯渇する不安もない再生可能エネルギーへの期待がますます高まってきました。特に雪などの厳しい気候条件にある青森県のような北日本地域では、再生可能エネルギーを最大限に有効活用することが、少子高齢化にともない疲弊する産業の構造を変える原動力になるにちがいありません。

本書では、弘前大学北日本新エネルギー研究所(2010年設立)が挑戦してきた研究成果に基づきながら、再生可能エネルギーの原理や活用方法について分かりやすく解説します。各章では、北



日本における研究拠点で活躍する第一線の研究者たちが、豊富な図表や写真、用語解説をまじえながら、再生可能エネルギーの魅力を浮き彫りにしていきます。

北日本の地方創生を実現するための提言、さまざまな知恵とヒントが詰まった画期的な入門書です！

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

### 学長オフィスアワー中止のお知らせ（再掲）

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日を実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

#### 【変更前】

平成29年 3月16日（木）15：00～17：00

#### 【変更後】

平成29年 3月16日（木）16：00～17：00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）

TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html>

### 弘前大学資料館企画展について（再掲）

弘前大学資料館では「平成28年度退職教員の業績」と題した企画展を行うことといたしました。

弘前大学ではこの3月に15名の教員が退職されます。

それぞれの学部・研究科・研究所・センター等において、教育研究の両面で大きな成果をあげられた方々の功績を顕彰し、あわせて本学における研究分野の深まりと広がりも多くの方に知っていただく機会として本展を開催いたします。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第13回企画展

「平成28年度退職教員の業績」

会 期：平成29年1月17日（火）～平成29年3月23日（木）  
（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

#### 【問い合わせ先】

弘前大学資料館

電話：0172-39-3432

E-mail：[jm3432@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3432@hirosaki-u.ac.jp)



## 国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

最新号「国立大学第43号」では、「特集 寄付と国立大学」において、本学・弘前市・弘前商工会議所の三者で設立した「学都ひろさき未来基金」が紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号（本学関連記事掲載）「国立大学第43号」

<http://www.janu.jp/report/koho/43gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: [jm3012@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@hirosaki-u.ac.jp) FAX:37-6594 内線：3029